



志楽小学校だより

舞鶴市立志楽小学校
令和元年度学校だより
第 8 号
令和元年11月1日発行



粘り強く、あきらめない強さを



学校の北門の脇にある柿の実が熟し、葉っぱもきれいに色づきました。なかよし広場の、イチョウの葉も黄色く色づき始めるところです。朝晩の冷気に秋の深まりを感じます。

台風や豪雨による災害が相次ぎ、今月に入ってもなお、断水や停電、家屋の損壊、農作物被害等、各地で甚大な影響が続いています。被害に遭われた方々へのお見舞いと一日でも早い復興をお祈りします。

アジアで初めて開催されたラグビーワールドカップ。世界の強豪国と堂々と戦い、ベスト8を勝ち取った日本チームの活躍は、これまでラグビーのことをあまり知らなかった人たちへも大きな感動と勇気を与えました。

つらい、苦しい練習で鍛え、議論を積みながら一つ一つのプレーを重ねてきた中で深まった、お互いへの信頼、一人一人が自分たちの役割を果たし、着実に力を付けてきたことへの信頼、それが自信となり「One Team」で強豪国に向かっていく強い姿から私たちは様々なことを学ぶことができました。

どんなに苦しい練習にも、お互いを信じて諦めないで続け、お互いに意見を出しながら、より強くなるための方策を考え、さらに練習を積み重ねたのだとか。その諦めずに粘り強く進む力が、代表選手になって初めてという稲垣選手のトライにつながり、ベスト8を勝ち取ったのではないのでしょうか。

10月30日の持久走大会では、子どもたちも「自分に勝つ」という気持ちを持って、諦めないで走る姿をたくさん見ることができました。それまでの体育の時間や志楽マラソンなどで、中には放課後にも練習をし、「がんばってきた。だから走れる。」と自信を持って走ることができたのだと思います。これからの学校生活でも、粘り強く諦めないことのよさを味わうことができるように、おうちの方のお力も借りながら、教職員、力を合わせ、指導をしていきたいと思ひます。

体育の時間、持久走練習の時には、グラウンドから「がんばれ」とお互いを応援する大きな声もたくさん聞こえてきました。持久走大会当日は、沿道から本当に多くの保護者の皆様や地域の皆様からすべての子どもたちに大きなご声援をいただきました。走る子どもと応援する側が「One Team」になり、子どもたちの力となりました。ありがとうございます。

また、10月19日に、シルバー人材センター志楽班の皆様と志楽川を美しくする会の皆様も志楽川沿いの草刈りをしてくださいました。おかげさまで、子どもたちが気持ちよく走ることができ、登下校も安全にすることができます。これも志楽小学校を見守っていただいている皆様のチームの力だと感謝しています。

11月。学校では人権旬間やいじめ対策強化月間の取り組みを行います。自分も人も大切にできる取り組みを進めていきます。心の安定と優しさを、ご家庭や地域の皆様と学校とともに育てていきたいと思ひます。ご理解・ご協力をお願いします



校長 小森 昌子
教職員 一同

オープンスクールウィーク中のたくさんのご参観をありがとうございました。

様々な活動の中で見せる子どもたちの表情を見ていただくことができたでしょうか。これからも「開かれた学校」を目指し、参観だけでなく、保護者や地域の皆様のお力を借りる取り組みを行いたいと考えています。「チーム志楽」の一員として、子どもたちを支えていただければ幸いです。